

## 【家庭教育支援チーム】

<b>チーム名 (呼称)</b>	育児サークル「アンファン広場」
<b>活動開始年度</b>	平成 18 年度(2006 年度)
<b>活動拠点</b>	茨木市大型商業施設 I アル・プラザ茨木(茨木市上郡 2 丁目 12-8) II イオンモール茨木(茨木市松ヶ本町 8-30)
<b>活動範囲</b>	茨木市内全域
<b>活動財源</b>	□文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) □文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) □厚生労働省事業(事業名 ) □地方単独事業として実施 □特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (茨木市の委託事業 名称 出前版「お楽しみ広場」 )
<b>組織体制</b>	14 人 子育てサポーター 2 人、元教員 1 人、電話相談員 2 人、 養育支援員 1 人、社会福祉士 1 人、親学習リーダー 3 人 福祉委員 1 人 (重複記載有)
<b>具体的な活動内容</b>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>  <p>今回・次回の紹介</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他( )  【活動内容】 <b>&lt;子育てサロンの開設&gt;</b> 大型商業施設   I アル・プラザ茨木(月 2 回)10:00～12:00 II イオンモール茨木(月 1 回)10:30～12:00 2 店舗のフロアーに保育用マットを敷いて、買い物に来た親子が気軽に参加できる子育てサロンを設け、「子育て、親育ち」の支援をする。  <b>&lt;活動目的&gt;</b> さまざまな遊びや講座、情報提供を通して、育児に対する不安解消を図り、子どものかわいさや親になる楽しさを感じながら子育てができる“子育て 親育ち”の支援をする。



パルーンであそぶ

<3種類のプログラムを提供>

①親子で楽しめるもの(ベビーマッサージ・リトミック・絵本の読み聞かせ・手形アート・人形劇・秋まつり・ペープサート・お昼寝アート・コンサート等)

②親を育てるためのもの(「親学習」・虫歯予防・けがの対処法・時間の管理・ストレス解消法・片づけの仕方・キャラ弁・簡単おやつ紹介等)

③親自身が楽しめるもの(アレンジ・アロマの虫よけスプレー・アルバム作成等)

<地域の子育て支援団体とのフェスティバルの開催>

<茨木市の子育て関連の情報を提供>

<相談機関の紹介や気軽に子育て相談>

<ミーティング(次回の引き継ぎ等)>

<周知方法> 茨木市の広報・各開催店舗の周知チラシ・イオンモール茨木のホームページ



高校生のボランティア

活動の成果

・成果

①12年間活動する中で、ぶらっと買い物に来て、

②様々な年齢の方とふれあい、

③友達になり、

④子育てに関する知識も増え、

⑤少し敷居の高いつどいの広場等の子育て支援機関に気軽に参加できるようになったとの声を聞く。

⑥ストレス解消に役だったという声も聞かれる。

⑦新しいスタッフに参加していたママが加わってくれた。



リトミック

・つながり

・茨木市の子育て支援団体

・社会福祉協議会(高校生のボランティア受け入れ)

・市民活動センター(フェスティバル)

・ナルク茨木

・大阪府教育局(共催事業「えほんのひろば」)

・大阪府警(イベントでの連携)

・大阪府看護協会(相談での連携)

・富士ゼロックス

・西尾歯科等とつながってきた。



大阪府看護協会

(相談での連携)

・特徴

・地域の子育て情報の提供(子育て支援機関・相談機関の情報等)

・ワン・ポイントアドバイスを配布(店内で)し参加を呼び掛ける

・年間2~3回助産師によるベビーマッサージを開催し、新米ママに参加を呼びかけ、次回につなぐ。

・一人でも気軽に参加できる。

・一人で参加している人同士をスタッフがつなげる。

・地域の支援機関がつながり、“子育てフェスティバル”を開催。

	<p>・2016年 内閣府「子どもと家族・若者応援団」“ユース・サポート章”受章</p>
<p>活動において苦労した点や課題</p>	<p>・16年前に活動を商業施設に依頼した時は、商業施設での子育て支援は多くの人に理解してもらえなかった。資金的にも様々な助成金に応募して、やりくりし苦労した。28年度より、茨木市の委託事業になり、資金面で安定した。</p> <p>・「〇〇講座」で開催すると参加者が少なくなる。アンケートを常にとり、参加者のニーズに合ったネーミング(例:「親学習」は「わいわいおしゃべり会」と、参加者にとって魅力的なイベントとの抱き合わせで開催。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>・参加者が受け身にならないイベントを心掛けているが、毎回40～60組の参加のあるイオンモール茨木での活動は、どちらかという受け身的なイベントになるので、大きなイベントとワークショップを組み合わせている。リピーターも増えてきたので、話し合う場も設けて、親育ちに必要なイベントも入れていきたい。</p> <p>・「親」としての入口、「地域社会」の入口としての役割を考えているので、今以上に様々なところとの連携を深めていきたい。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)代表 田中 康子</p> <p>(TEL)090-8934-4121 (E-mail) cabvf414@hcn.zaq.ne.jp</p>